

ボーリング柱状図

調査名

(仮称)本町田高齢者在宅サーヒ゛スセンタ 一建設に伴う地盤調査委託

ボーリングNo.					

事業·工事名

シートNo. ボーリング名 N o . 1 調查位置 町田市本町田2102-1 北 緯 発注機関 町田市役所 調査期間11年 3月 4 日 ~ 1 1 年 3月 9 🖯 東 経 北上0 孔口標高 上 水平゜。 0.18m<u>7</u>90° 総掘進長 25.24m 度 南 孔内 深 標 層 色相相 柱 土 記 準 貫入試験 原位置試験 試料採取 水位 深 10cmごとの 試 験 名 深試採 質 対対 進 値 Ν 標 打擊回数 および結果 高 (m 尺 厚 度 状 料取 本 度 0 1020 度 区 密稠 度 測定月日 月 位 番方 ? 置 図 調度度 (m) 1 0 20 30 分 (m) (m) (m) (m) /(m) 号 法 日 (m) (cm) 0.15m付近まで埋土で磔、ガラを混入。 0.15m以深は腐植物を若干混入 含水分は少なく、粘性は弱い。 黒 褐 0.95 -0.775 30 2 2 1.15 2 2.15 32 3.8 2 T1 ① 別孔 3 30 3.15 1 1 1 3 3.45 5 30 5 4.15 2 2 4.45 5.15 2 34 1.8 茶 4 21 13 上部暗茶褐色を呈する。 5.49 3 34 2.6 軽石粒、スコリアを混入。 6.15 酸化物、腐植物を若干混入。 暗 6.49 10m付近より、やや硬くなる。 2 30 2 7.15 褐 硬 含水分、粘性は中位。 5 灰 7.45 8 8.15 13 33 3.6 8.48 9 2 2 6 30 9.15 3/8 10.00 9.45 10.15 12 30 -10 4 5 12 10.45 <u>8</u> 3 3 11.15 7 11.45 -12 2 12.15 琣 土質口 軽石粒、スコリアを混入。 30 中 12.45 腐植物を若干混入。 茶 -13 位 <u>4</u> 30 1 2 13.15 含水分はやや多く、粘性は弱~中位 褐 1.85 13.45 13.80~13.90m付近は粘 密 11 | 11 | 20 42 30 42 14.15 土を互層状に挟む。 砂 色調変化あり。含水分は少~中位。 14.45 褐 -15 12 15m付近から含水分やや多くなる <u>15.15</u> 21 | 17 礫 極 50 27 **5**5.6 灰 密 φ80mm位の玉石が点在。 15.42 2.25 15.90 -15.72 E 16 3 3 16.15 2 暗 30 8 褐 16.45 雲母片、有機物、砂を若干混入。 灰 18m付近で木片、小礫を若干混入 3 <u>30</u> 17.15 粘 - { \pm 色調の変化激しい。 17.45 暗 -18 含水分、粘性は中位。 3 3 3 18.15 茶 灰 -18.67 2.95 12 30 12 砂 3 4 5 19.15 雲母片、炭化物を若干混入。 暗 混 19.45 20.75m付近より、やや硬くな め 青 20 15 30 15 5 6 極 20.15 粘 灰 含水分、粘性は中位。 硬 \pm 20.45 -20.67 2.00 20.85 雲母片、炭化物を若干混入。 砂の粒子は均一。含水分は中位。 21 細 青灰 37 30 37 8 12 17 21.15 密 -21.32 0.65 21.50 13 22.15 21 25 4 50 1 21 71.4 22 IA 古 22.36 結 16 4 50 14 暗 雲母片、炭化物、砂を若干混入。 23 23.15 15 シ 曹 堅 25.10m付近砂を挟む。 23.29 含水分は少ない。 Jν 灰 50 16 93.8 20 24 24.15 24.31 50 9 25 -25.06 25.15 3.74 25.24 26 27

ボーリング柱状図

調査名

(仮称)本町田高齢者在宅サーヒ[、]スセンタ 一建設に伴う地盤調査委託

Į .							
ボーリングNo	1						
1 // 222/10.					1	1 '	l i
1			1		i		1 1

事業 工事名 シートNo. ボーリング名 N o . 2 調查位置 町田市本町田2102-1 北 緯 発注機関 調查期間 町田市役所 1 1 年 3月 2日~11年 3月 4日東 経 北。0° 地盤分配 方 孔口標高 上 0.55 m水平 🛭 <u>)</u>90° 西 総掘進長 26.33m 度 向 南 標 層 深 色相相 柱 土 寄養 記 標準貫入試験 原位置試験 邓平科 水位 10cmごとの 試 験 名 深試採 深 質 |対|対 進 値 Ν 標 および結果 尺 (m) 高 厚 度 状 料取 0 1 0 20 度 区 |密||稠 測定月日 月 番|方 位 ? ? 図 調度度 (m)号法 分 事 (m)|10|20|30| 日 (m)(m)(m)(m)(m) (cm) ○.15mまで草、草根を混入。 腐植物を若干混入。 パサパサしている。 含水分は少なく、粘性は弱い。 ボ 褐 -0.60 5 30 5 1.15 2 2 1.45 <u> 2.15</u> 2 33 3.6 2.48 3 3.15 3 3.48 2 5 30 4.15 2 褐 4.45 5 5.15 上部暗茶褐色を呈する。 35 1.7 暗 20 15 4 軽石粒、スコリアを混入。 5.50 茶 6 6.15 酸化物、腐植物を若干混入。 15 | 11 5m付近は暗茶色を呈する。 6m付近より茶褐色を呈する。 茶 7.15 9m付近より硬くなり、暗褐色を呈 褐 36 3.3 硬 する。 7.51 8 含水分、粘性は中位。 2 8.15 1 5 30 暗 8.45 9.05 褐 9.15 3 32 6.6 灰 10 30 10 F 1 0 3 3 4 10.15 10.45 F 1 1 4 1<u>0</u> 30 4 11.15 2 10 11.45 2 12.15 軽 石 黄褐 緩 30 12.45 極 -13 13.15 暗 軽石粒、スコリアを混入。 $\frac{1}{24}$ $\frac{1}{11}$ 土質口 35 1.7 軟 8 茶 酸化物、腐植物を若干混入。 13.50 含水分やや多く、粘性は弱い~中位 32 14.15 褐 軟 50₇ 50₇ 粘土分を若干含有する。 -15 褐 極 15.15 礫 灰 嘧 崩壊有り。含水分は中位。 16 -15.60 1.65 16.15g: XO 2 2 16.15 17m付近より礫を若干混入。 30 黄褐 16.45 位 雲母片を混入。 ~暗 含水分は中位一多く、粘性は弱いつ 2 8 30 <u>7.15</u> 茶灰 硬中位。 <u>-16.95</u> 17.50 7.45 青 炭化物を若干混入。雲母片を混入。 -18 シルト 5 7 3 15 灰 18.15 中 色調の変化激しい。 混り細 位 下部シルト分が減少する。 18.45 褐 : 砂 19 -18.70 灰 含水分は中位。 5 | 14 | 19 38 30 38 19.15 1.75 19.25 暗 19.45 黄 <u>20.15</u> 10 | 14 43 30 43 -20 19 古 灰 12 炭化物、雲母片を若干混入。 20.45 結 暗 色調変化あり。 10-5 50 25 16 | 24 -21 21.15 シ 菁 堅 細砂を互層状に若干挟む。 __60 13 灰 21.40 Jυ 含水分は少なく、粘性は中位。 12 50 24 62.5 13 | 25 22 22.15 暗 緑 22.39 灰 -22.45 3.75 23.DC 50 27 55.6 14 | 20 -23 16 23.15 暗 色調変化あり。雲母片を混入。 極 上14 緑 シルト分を若干含有する。 23.42 50 14 砂 密 35 15 含水分は中位。 灰 -23.55 1.10 24.10 24.15 電費 次 堅 等母片、細砂を混入。 含水分は少ない。 -23.95 0.40 24.50 !!! 園籍3 F 14 24.29 暗青 50 15 26 25 25.15 雲母片を混人。砂の粒子は均一。 含水分は中位。 細砂暗緑極密 -24.90 0.95 25.45 15 25.30 堅 会せん 細砂を混入。 固結シ 暗青 26.15 27 23 50 18 83.3 -26 26.33 含水分は少ない。 -25.78 88.0 26.33 -27